

平成 21 年 1 月 15 日



各 位

会 社 名 株式会社ドール・日レスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 星野 正則
(コード番号 3087 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役 木高 毅史
(TEL: 03 - 5459 - 9178)

業績予想修正に関するお知らせ

株式会社ドール・日レスホールディングス(本社:東京都渋谷区猿楽町 10 番 11 号、代表取締役社長:星野正則)は、平成 21 年 2 月期の第 3 四半期の業績結果及び外食業界を取り巻く経営環境等を踏まえ、平成 20 年 10 月 15 日付「平成 21 年 2 月期 中間決算短信」において公表いたしました平成 21 年 2 月期(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	107,817	11,096	11,654	6,539
今回修正予想(B)	104,500	9,775	10,162	5,617
増減額(A-B)	3,317	1,321	1,492	922
増減率	3.1%	11.9%	12.8%	14.1%
前期比増減額	3,186	229	272	164
前期比増減率	3.1%	2.3%	2.6%	3.0%

前期実績(平成 20 年 2 月期)	101,314	10,004	10,434	5,453
--------------------	---------	--------	--------	-------

2. 業績予想修正の理由

当期につきましては、米国のサブプライムローンを起因とする世界的な金融の混乱が実態経済にも影響を及ぼし、外食業界においては、景況感を反映した消費者の生活防衛意識が急速に高まって個人消費は急落、外食を控える傾向が更に上昇しております。このような環境の中、当社におきましては、日本レストランシステムの計画以上の新規出店の増加、製造部門、物流部門の積極的な設備投資により販管費が増加しました。また駐車場付のロードサイド店などを中心に高単価業態における既存店の売上が伸び悩んだこと、更に期初からの原材料高の影響を受け原価率が上昇したことなどにより、業績予想を修正したものです。また、特別損失において、ドールコーヒーの子会社であるドールコーヒー・ハワイ株式の減損を行い、約 10 億円の特別損失の計上を計画しております。

以上

- * 上記予想については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。